



東陽の旋風^{かぜ} ～自立貢献～

令和4年12月9日（金）No.31発行
文責：松本 卓也

“共育”を目指して ～2学期授業参観、学年・学級懇談会～

2日（金）、「2学期授業参観、学年・学級懇談会」を開催しました。多くの保護者の皆さまのご来校、ありがとうございました。授業参観では、1年生は「メディアと上手に付き合うためには」、2年生は「西光万吉の生き方に学ぼう」、3年生は「進路学習」の授業を公開しました。当日は東陽小中学校の学校運営協議会員の8名の皆さまにもご参観いただき、「授業がとても楽しく、要点をしっかりと押さえられていた先生の指導力に感心（感動）しました。（1年）」、「生徒たちが、先生や他の生徒の話をよく聞き、自分なりに考え、話し合っているようすが見られました。（2年）」、「進路の話は真に迫っている内容でした。（3年）」等、嬉しい感想をいただきました。また、「学校全体の雰囲気もよいと思います。」「1年生が中学校の学習環境に溶け込んでいる姿に感動しました。」「大人しく真面目な生徒たちだと思います。指示によく従っています。（発表などの積極性が出てこない）自己肯定感はやりにくいと思います。」等の貴重なご助言をいただきました。今後、校内で課題を共有し、改善に努めたいと思います。学校運営協議会員の皆さま、ありがとうございました。



学年・学級懇談会では、2学期のようすや今後開催される学校行事の説明に加え、冬休みの過ごし方、ICT機器との上手な付き合い方についてご家庭での見守りをお願いしました。ご家庭と学校が同じ方向を向き、「共に子どもを育てていく=共育」視点を大事にして、3学期も教育活動を進めていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆さまの温かいご支援とご協力をよろしく願います。



自分が発する言葉に責任をもちたい

3日（土）、八代市人権問題啓発推進協議会の主催で、「人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ」がライブ配信で開催されました。本校からも、1・2年生11名の参加がありました。「自分が発する言葉一つ一つに責任をもって生活していきたい。」「私の学年でも席が空いているので、それが当たり前にならないように、自分から声をかけたり、みんなで勉強したり、遊んだり、笑ったりすることができたらいいなと思いました。」等、子どもたちは人権メッセージや人権学習等、各学校の取組に対して、自分を振り返って考えていました。お互いを尊重した、差別のない社会を実現していくために、子どもたちと共に、日常での学びや人権学習を重ねていきます。



前回より、コミュニケーションをとることができました ～ボランティアガイド～

10月23日（日）東陽しょうが祭でスタートした日本遺産中学生ボランティアガイド。12月より、毎月第1日曜日・事前申込制で行います。4日（日）、天候が心配されましたが、朝から雨も上がり、2団体、12名の方にガイドを実施しました。「東陽町の地域、まちづくりの熱心が伺えました。景観等も大変きれいに整備されていて、また来たいなと思いました。」等、温かい感想や助言をいただきました。子どもたちからは、「学校生活や進路のこと等、前回より、コミュニケーションをとることができました。」と自信を持ってガイドをしてくれました。「石工の郷 八代」の魅力さをさらに伝えられるよう、子どもたちを育てていきます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）